

安全データシート (SDS)

2019/08/05 改定

製品名	PUROGENE (ピュオロジェン)
化学分類	塩素化酸化物の混合品
化学名および一般名	二酸化塩素水溶液(Aqueous Chlorine Dioxide)
別名	N/A
CAS No.	None (混合品)
NFPA 規格	(危険なし = 0 から 最悪 = 4) 火災危険 = 0 健康危険 = 1 反応危険 = 1 特別な指示: なし
注意事項	眼球刺激および皮膚刺激のケースがある。
EPA 登録番号	EPA 9804-5
製造会社名	バイオサイド・インターナショナル社 (Bio Cide International INC.) 2845 Broce Drive, オクラホマ州ノーマン市 (P.O Box 2700) U.S.A
毒性成分	亜塩素酸ナトリウム、二酸化塩素 3.35%
外観および臭い	極く僅かな塩素臭を持つ無色透明液
沸点	100.55°C
融点	N/A
蒸気圧(25°C)	23.7mm/Hg
蒸気密度	0.02kg/m ³
比重(20°C)	1.03g/ml
揮発分(容量)	97%
オクタノール/水分係数	NE
蒸発率	水と同等
pH	8.0~8.5
水に対する溶解度	完全に混合できる。
引火点(方法)	燃焼性はない。
消火材	火に含まれる他の物質による禁忌の指示を除けば水でよい。
消防用器具	呼吸器具を装備した標準保護用具
特別な消防法	極度な乾燥状態の中で蒸発させないように注意する。 二酸化塩素ガスが生成されたら吸い込まないように空中に飛散させること。
例外的引火及び爆発の危険性	溶液が乾燥した時に発生する亜塩素酸ナトリウムは、燃焼を助ける強力な酸化剤である。また、溶液から生成される二酸化塩素は、10%以上の高濃度溶液のガス相で爆発の危険を持つので、保管には留意すること。
安定性	安定
避けるべき状態	結晶塩となって蒸発するような状態での貯蔵は避けるべきである。
禁忌(避けるべき物質)	酸、塩素系化合物、次亜塩素酸塩(漂白用)、イオウ、亜硫酸塩化合物、リン、有機溶剤、可燃性・引火性物質などとの接触は避けるべきである。
有害な分解生成物	酸あるいは塩素化合物と接触すると遊離二酸化塩素(ガス)が発生する。
有害な重合	重合は起こらない。
摂取	ラットの経口LD50は4,360mg/kg 胃の不快感、吐き気や嘔吐、下痢症状を起こすことがある。多量摂取の場合、メトヘモグロビン血症になることがある。
眼への接触	結膜、角膜、眼瞼への軽い刺激を生ずる。

皮膚への接触	長時間暴露で軽度の紅斑と局所的な浮腫が現れ、軽い刺激が生ずることがある。
皮膚からの吸収	皮膚を通して毒性を示すほどの量は吸収されないと思われる。
吸入	急性吸入はLC50>5.61mg/Lである。霧状を長時間吸入すると鼻やのどに刺激を感じることがある。また、活性化時の遊離二酸化塩素ガスを吸入すると、呼吸器粘膜の刺激や頭痛を起こすことがある。
身体及び他への影響	知られていない。
暴露による異常な炎症	皮膚アレルギーや皮膚炎のような皮膚障害の恐れがある。 ガス状態で長時間暴露されると、肺気腫のような肺障害を起こすことがある。
発ガン性	発ガン性を疑わせるデータは立証されていない。
突然変異性	突然変異性を疑わせるデータは立証されていない。
生殖器官への効果	有効と認められるデータの知見はない。
<p>当データシートに記載された内容は、製造者であるバイオサイドインターナショナル社自身の研究と外部からの既成事実を鑑みて作成された資料の抜粋であり、内容の編纂責任は飛雄商事（株）にあります。尚、本情報は現在の知見に基づくものであり、その内容を保証するものではありません。</p>	